

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	人間福祉研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 人間福祉研究科が求める大学院生像を具体化し、ホームページや大学院案内等の関連するすべての広報媒体で明示する。	→関西学院大学で出されている学生の受け入れに関するすべての広報媒体での公表。	B	B	B	B	B
2. より厳正な選抜試験を実施し、人間福祉研究科にふさわしい大学院生を選抜する。	→入学生に対するアンケート調査および入学生の卒業後の進路に関する報告書の作成。	C	C	B	B	B
3. 研究科への門戸を広く開くために外国人、社会人等の特別学生の入学者数を一定数確保するための制度導入を検討する。	→基礎的な知識に関連する科目および日本語教育科目設置に関する研究科での年1回の委員会の開催。	B	B	B	B	B
4. 9月と2月の年2回実施されている大学院入試の公正さや結果を比較検証する。	→大学院諸問題検討委員会での年1回の検討。	B	B	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 人間福祉研究科前期課程および後期課程のそれぞれが求める具体的な大学院生像は、人間福祉研究科のホームページや大学院案内、入試要項などにおいて公表している。また、副研究科委員長を中心に年2回(6月・11月)、人間福祉研究科独自の説明会を実施し、具体的な大学院生像を受験生等に説明している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ホームページや大学院案内、入試要項など、大学全体での学生の受け入れに関する主たる広報媒体での公表に加え、人間福祉研究科独自での説明会を年2回(6月・11月)実施している。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 人間福祉研究科が求める大学院生像をより具体化し、より多くの広報媒体を活用して明示する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標2	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科委員会や大学院諸問題検討委員会などにおいて、適正な試験を目指し、試験問題の出し方、出題内容、採点方法、採点基準等について議論を重ねてきている。そして、それらの内容については、入試関連情報であり非公開ではあるが、「入学試験申し合わせ」の中で明示している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 人間福祉研究科にふさわしい大学院生を選抜するための適正な選抜試験の実施に向けて、検証が進められている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か さらなる適正な選抜試験を目指して、試験問題の出し方、出題内容、採点方法、採点基準等について議論を継続的に行う。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 外国人および社会人等の特別学生を一定数確保するための制度については、入学試験の際に一般学生とは異なる問題、入試科目を設定するなど、研究科創設時から実施している。また、研究科委員会や大学院諸問題検討委員会において、入試科目の妥当性や日本語教育科目の設置の必要性等を引き続き検討している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 外国人および社会人等の特別学生を毎年一定数確保できている。 研究科委員会や大学院諸問題検討委員会において、入試科目の妥当性や日本語教育科目の設置の必要性等が検討されている。その結果、2015年度入学試験より、年1回の実施だった社会人入試を2回とし、社会人がより受験しやすい環境を整えた。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も大学院諸問題検討委員会を中心に、外国人および社会人等の特別学生の入学者数を一定数確保するための制度の充実を検討する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆

目標4	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 9月と2月の年2回実施されている大学院入試の公正さや結果については、大学院入試の判定の際に研究科委員会においても毎回議論し、比較検証している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 大学院入試が公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に比較検証されている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 大学院入試の公正さや結果について、大学院諸問題検討委員会および研究科委員会において継続的に議論し、比較検証していく。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉研究科】		前期/後期課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	前期課程	名	8	8	8	8	8	・5/1現在
		後期課程		5	5	5	5	5	
指標2	志願者総数	前期課程	人	18	11	9	13	8	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		4	3	3	0	3	
指標3	合格者数	前期課程	名	10	8	7	10	6	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		3	3	2	0	2	
指標4	入学者数	前期課程	名	9	8	7	10	5	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		3	2	2	0	2	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍	2.3	1.4	1.1	1.6	1.0	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程		0.8	0.6	0.6	0.0	0.6	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	前期課程	倍	—	—	1.00	1.05	0.98	
		後期課程		—	—	0.48	0.36	0.36	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	44.4%	75.0%	28.6%	30.0%	20.0%	・5/1現在 ・一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
指標8	収容定員	前期課程	名	16	16	16	16	16	・5/1現在
		後期課程		15	15	15	15	15	
指標9	在籍学生数	前期課程	名	19	17	18	20	18	・5/1現在
		後期課程		8	8	8	5	7	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%	118.8%	106.3%	112.5%	125.0%	112.5%	・5/1現在
		後期課程		53.3%	53.3%	53.3%	33.3%	46.7%	